

第2シーズン放送開始のTBS系日曜劇場『VIVANT』が、 ファンの感想と公式情報がひとつの場集まる noteのAIコンテキストネットワークに参加



社会現象となったTBS系日曜劇場『VIVANT』が、noteの「AIコンテキストネットワーク」に参加しました。ファンの感想と公式情報が、ひとつの作品ページに集まる仕組みで、同作は7月26日からTBSの日曜劇場で第2シーズンの放送が始まります。

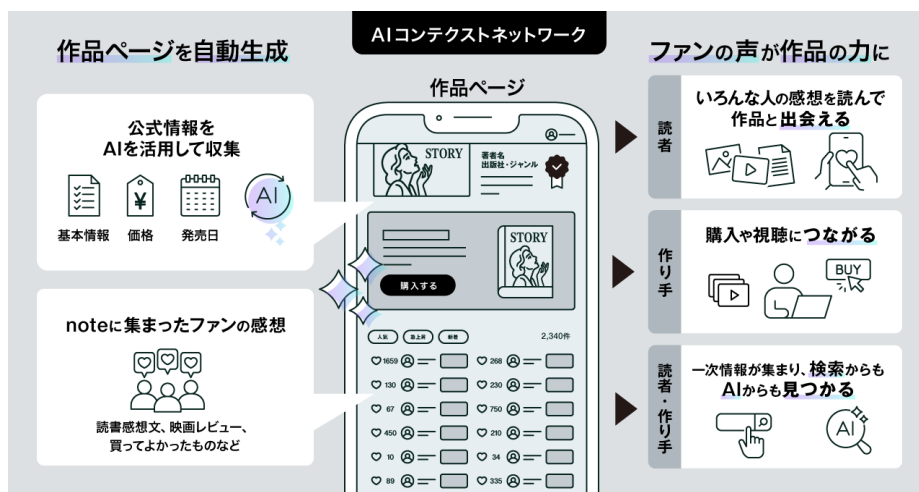
noteには同作への感想・考察記事がすでに2000件超、投稿されています。noteではテレビドラマの感想をつづる文化が根づいており、2026年春クールのドラマ感想文ランキング(*)ではTBSのドラマが上位に入るなど、投稿は活発に行われています。こうしたファンの声がドラマの魅力を多面的に伝え、興味を持った読者はそのままTVerやU-NEXTでのドラマ視聴に進めます。作り手にとっては、作品と新しい視聴者との出会いが広がる場です。

*ランキング詳細：<https://note.jp/n/neb989386c315>

作品ページ：<https://note.com/hashtag/VIVANT>

AIコンテキストネットワークとは

作品・商品ごとに、ファンの感想と公式情報が集まるページをAIを活用して自動で生成する仕組みです。現在は書籍・映像・ゲーム作品に対応しており、今後あらゆるカテゴリに拡大予定です。noteでは「#読書感想文」「#映画感想文」をはじめとする公式の投稿企画を約150件実施しており、寄せられた感想・レビュー記事は累計約200万件にのぼります。



作品ページを訪れた読者は、いろんな人の感想を読んで次の作品と出会えます。作り手にとっては、ファンの声が購入や視聴の後押しになります。一次情報が集まることで、検索からもAIからも見つけやすくなります。ファンの声が作品の力になる。AIコンテキストネットワークは、その循環を生み出す仕組みです。

noteでのファン文化

本作をめぐる投稿は、単なる視聴記録にとどまりません。緻密な伏線をめぐる考察、登場人物の背景を読み解く記事、放送のたびに感想を語る投稿など、多彩な切り口の記事が積み重なってきました。他のひとの感想を読んでからもう一度見返すなど、一度の視聴では終わらない楽しみ方も広がっています。

第2シーズンを前に、続きの展開を予想する記事やシーズン1を振り返る考察がすでに増えはじめており、放送開始とともにさらなる増加が見込まれます。

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約8209万件の作品が誕生。会員数は1248万人（2026年5月末時点）に達しています。

- URL : <https://note.com/>
- iOSアプリ : <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2 設立日：2011年12月8日

代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>